

事業所名

瑞浪市子ども発達支援センターぼけっと

放課後等デイサービス・支援プログラム

作成日

6年

12月

1日

法人（事業所）理念		一人一人の個性を大切に、子どもたちが健やかに成長し、地域で自立した生活を送るための支援を行います。		
支援方針		対象児の自立の促進、生活の質の向上等を図ることができるよう、対象児の発達の特性や生活環境等に応じて、日常生活における基本的な動作の支援、集団生活への適応支援を適切に行います。		
営業時間		月～金曜日	午前8時30分～午後5時15分	送迎実施の有無 なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	*健康状態の維持・改善、生活習慣や生活リズムの形成、基本的な生活スキルの獲得を目指した支援を行います。 ・家庭と連携し、健康で安定した生活が送れるよう、支援方法を共有します。来所時に健康状態や生活リズムについて確認します。 ・個々の発達状況に合わせ、持ち物の管理や気温に応じた衣服の調整等、生活の自立に向けたスキルが身に付けられるよう支援します。		
	運動・感覚	*日常生活に必要な、姿勢と運動、動作の基本的技能の向上を目指した支援を行います。 ・運動遊びを通して、バランス感覚や協応動作、力の強弱等を経験します。様々な感覚を統合し、自分の体をコントロールする力を育てます。 ・制作活動等を通して、安定した姿勢を保ちつつ、手先のコントロールや目と手の協応等を経験できるようにし、生活や遊び、学習における実行力が高まるようにします。		
	認知・行動	*遊びや体験を通して、認知機能の発達を促すことで、周囲の環境から必要な情報を正しく受信・選択し、それに基づいて行動できるよう支援します。 ・構成遊びやゲーム遊び、制作遊び等を通して、論理的思考力や空間認識能力等を養います。遊びの中で試行錯誤する過程を経験しながら認知機能が高まるよう支援します。 ・情報を視覚化する等、理解しやすいように配慮しながら、様々な活動の提案を行います。興味関心の幅を広げつつ、自己選択・自己決定を経験できるようにします。		
	言語 コミュニケーション	*個々の発達に応じた様々な表現方法を用い、コミュニケーションを楽しみながら、具体的な関わり方を身に付けられるように支援します。 ・遊びや活動場面の中で、具体的な事物や体験とことばを結び付けることにより、様々なことばの意味や表現方法を学び、獲得できるよう支援します。 ・自己表現の仕方や伝え方、相手の話をよく聞くこと等、コミュニケーションの方法を身に付けられるようにします。表現方法について一緒に考えたり、モデルを示して支援します。		
	人間関係 社会性	*遊びや実体験等の活動を通して人との交流を楽しむことができるようにし、集団参加や仲間づくりに向けた支援を行います。 ・大人との関係を基盤に、友だちとの小集団遊びに安心して楽しく参加できるようにします。参加への成功体験を積むことで、仲間づくりや場面適応への自信が持てるようになります。 ・仲間遊びを通して、ルールや約束、周りの状況の捉え方や場に合った行動の仕方、感情のコントロールの方法等、より良い参加の仕方や関わり方のスキルを学べるようにします。		
家族支援		支援終了後に、家庭での様子や学校生活の様子について話し合い、生活の中での困りごとや心配事について相談援助ができるようにします。 発達や子育てに関する、保護者向けの学習会等を開催します。	移行支援	学校訪問、学校との情報共有を行い、集団生活の様子を把握します。継続した支援ができるようにします。
地域支援・地域連携		瑞浪市子ども家庭課、保健センター、教育委員会、小学校や特別支援学校等、関係機関との連携を図り、適切な支援に繋がります。必要なサービスの情報提供等を行い、地域で安心した生活が送れるよう支援します。	職員の質の向上	自主研究会等を開催し、外部講師や関係機関から支援方法についての助言を受け、検討を深めます。各種研修会・研究会に参加し、発達や支援に関する専門的知識を得られるようにします。
主な行事等		・夏祭り遊び、お楽しみ会等、季節に合わせた体験遊び		